

## 原子力災害における放射線被ばくを考える(福井)

開催日：平成 25 年 3 月 16 日(土)

時 間：13 時 30 分 ～ 17 時 00 分 (開場：13 時～)

場 所：福井市地域交流プラザ AOSSA 6F 601 研修室  
福井県福井市手寄 1 丁目 4

定 員：100 名(参加費：無料、ただし非会員は 1000 円)

主 催：日本放射線技術学会中部部会防護研究会・アンギオ研究会

共 催：福井県放射線技師会

趣 旨：東日本大震災に伴う福島第一原発事故から約二年を経た現在も生活圏の放射性物質による汚染が報道され、一般市民の間に放射線被ばくによる健康影響への不安が未だ存在するため、今後も継続した支援活動が求められる。一般市民のみならず、我々診療放射線技師や他の医療従事者の間でも被ばくに対する誤解と混乱が生ずる場合があり、被ばくの分類、形態および単位などの基礎的な事項を再確認し、不安に応えるためのコミュニケーション能力が必要である。

福島の現状や放射線被ばくに関する一般市民の意識変化についての最新情報から一般市民の不安を理解し、医療従事者の放射線教育を含めてどのように対応するか学ぶ。

### —プログラム—

開会挨拶 13:30-13:40 藤田保健衛生大学 鈴木 昇一

基調講演 13:40-14:40

座長：金沢大学 松原 孝祐

「福島での現状—市民意識の変化と放射線教育現場での問題点について—」(60 分)

北福島医療センター 丹治 一

教育講演 14:50-16:20

座長：福井大学医学部附属病院 指江 浩之

(1)「放射線防護に関する継続的教育訓練の必要性」(30 分)

金沢大学附属病院 飯田 泰治

(2)「放射線技師に必要な放射線防護の基礎知識」(30 分)

名古屋第二赤十字病院 有賀 英司

(3)「放射能・放射線に関する Risk Communication」(30 分)

浜松医科大学医学部附属病院 竹井 泰孝

総合討論 16:20-17:00

座長：藤田保健衛生大学 鈴木 昇一

福井大学医学部附属病院 福島 哲弥